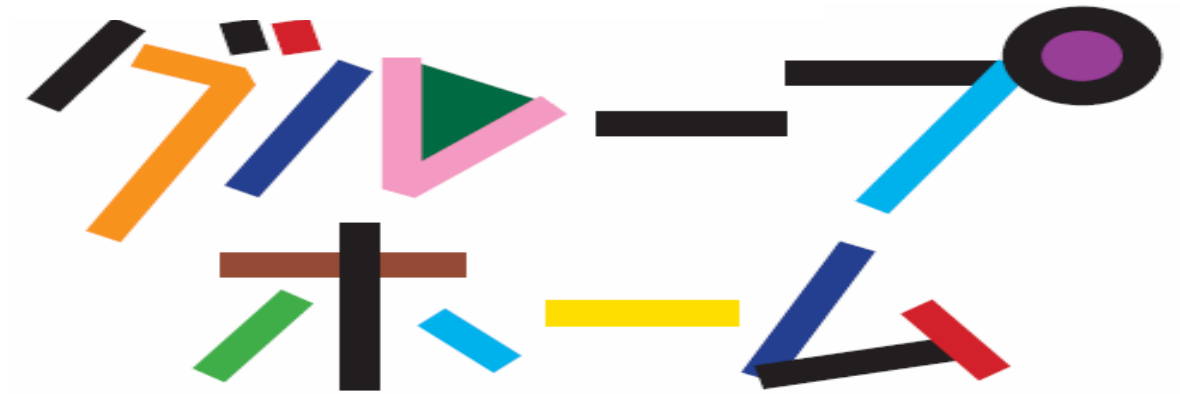


障害のある人と援助者でつくる 季刊



<号外> 第6回 日本グループホーム学会大会  
山形大会 開催要項

開催趣旨

制度は年ごとに変わり続け、社会も経済も大きな波にのみ込まれています。けれど、荒波の中でも変わらない「人の暮らし」がきっとあるはず。今年は山形で、それを見つめてみませんか？

日 時：2009年6月13日（土）～14日（日）

定 員：350人

大会参加費：2日間参加：会員 5,000円 非会員 8,000円

1日のみ：会員 2,500円 非会員 4,000円

障害のある方 500円

宿泊懇親会：13,500円 懇親会のみ 9,000円

会 場：天童ホテル

山形県天童市鎌田本町2丁目1番3号 TEL：023-654-5511（代）

アクセス

●天童駅から徒歩15分

●13日は送迎バスが天童駅⇄ホテル間をシャトル運行いたします。（11:00～12:15）

●JRご利用の場合

・秋田～天童 奥羽本線・山形新幹線：2時間40分

・仙台～山寺 仙山線：50分（山寺駅下車タクシー15分）

・東京～天童 山形新幹線：2時間45分

・新潟～天童 羽越本線・米坂線・奥羽本線：3時間40分

●飛行機の場合（山形空港より車で10分）

・名古屋～山形 65分

・大阪～山形 75分

・札幌～山形 70分



主催 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会  
 学会事務局 小平市小川町1-830 白梅学園短期大学堀江研究室  
 後援（予定）山形県 山形市 天童市 山形県社会福祉協議会  
 山形県知的障害者福祉協会 山形県身体障害者福祉協会  
 山形県手をつなぐ育成会 山形県精神障がい者家族連合会

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会  
第6回大会（山形大会）参加申込書

～ 申込みFAX番号：022-261-4623（名鉄観光サービス仙台支店）～

- ※ お一人様ずつ、下記参加申込書をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ※ ナイトセッション参加希望を開催要項にある5つの分科会より第2希望までご記入ください。希望者が多数の場合は調整をさせて頂く場合がございます。
- ※ 申込後、旅行社より参加費・宿泊代等の振込用紙、参加票、ご案内等を送付致します。

フリガナ				職業に○をつけて下さい	性別	年齢
氏 名				入居者 GH世話人 学生 家族 施設職員 その他（ ）	男 女	歳
フリガナ				TEL	（ ）	—
住 所	〒	—	—	FAX	（ ）	—
				E-mail		
				1		
参加区分	2日間	<input type="checkbox"/> 会員 (5,000円)	<input type="checkbox"/> 非会員 (8,000円)	* 懇親会 9,000円	<input type="checkbox"/> 参加します	
	1日のみ	<input type="checkbox"/> 会員 (2,500円)	<input type="checkbox"/> 非会員 (4,000円)		<input type="checkbox"/> 参加しません	
	障害のある方	<input type="checkbox"/> 500円				
ナイトセッション希望	第一希望（ ）分科会		第二希望（ ）分科会			

\* 宿泊を希望されない方で懇親会に参加を希望される方（宿泊料金には懇親会費用が含まれております）

【宿泊のご案内】

- 山形県内はさくらんぼの季節です、宿泊は大変込み合う事が予想されます。お早めにお申込ください。
- 宿泊お申し込みの方へは、ホテルのご案内、宿泊券、振込用紙等を同封致します。
- 宿泊代金には懇親会参加費が含まれます。
- シングルご希望の方へは、近くのビジネスホテルをご用意致します（若干名）

宿泊先	6/12（金）	6/13（土）	宿泊料金・形態	同室希望者/その他
天童ホテル 前泊も同じ料金になります	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望する	13,500円 4～5名部屋	
市内ビジネスホテル	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望する	6,000円 1人部屋	（懇親会なし）
市内ビジネスホテル		<input type="checkbox"/> 希望する	15,000円 一人部屋	（懇親会付き）

【仙台空港からの送迎バスのご案内】

6/13 仙台空港 10:30発 ⇄ 6/14 天童ホテル 13:30発

往復プラス14日昼食弁当付き 料金 2500円  申し込む

☆ 取消料について・・・お申し込み後、ご都合により取り消される場合は、下記取消料を申し受けます。  
大会参加費は返金致しませんのでご了承ください。

20日～8日前まで	7日～2日前まで	前日	当日	無連絡・不泊
20%	30%	40%	50%	100%

☆ お申し込み締め切り・・・5月23日 ※定員になり次第締め切ります

\* 個人情報の取扱いに関する方針は、名鉄観光の店頭・ホームページでご確認ください  
 (<http://www.mwt.co.jp/index.shtml>)

【お申し込み先】 名鉄観光サービス仙台支店「グループホーム学会山形大会」係（担当：小山）  
 TEL：022-227-3611 FAX：022-261-4623

【プログラム内容に関するお問い合わせ先】  
 〒990-0861 山形県山形市江俣1丁目9番26号 サポートセンターゆあーず（担当：二関）  
 TEL：023-682-0212 FAX：023-682-0211 E-mail pal@ysj.or.jp

1971年6月17日第三種郵便物認可（毎月6回5の日・0の日発行）2009年4月28日発行 SSK増刊通巻第3404号 定価500円（税込み）  
 発行所 〒157-0073 東京都世田谷区站6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

# プログラム

## 6月13日(土) 受け付け 11:30~

12:00~12:30 第6回 学会総会

12:50~13:00 オープニング ♪心と体を音楽にのせて♪  
山形心体表現の会

13:00~13:30 記念講演  
「山形の農と暮らしと支えあい」 原田俊二氏(山形県川西町在住)

都会での教師生活にピリオドをうち、山形にUターンし農業を継いだ原田さん。地域づくりにも深くかかわっていらっしゃいます。GHが9つある小さな町の「人々の暮らし」をお話しいたします。

13:30~14:00 隣組セッション~GHのおとなりさん

山形県内の3つのグループホームのお隣さんにお集まりいただきました。「お宅の隣はなんだや？」と語りあった、お茶のみ話を大公開!!

14:00~15:00 基調講演

「様々な人々が混ざり住む『シェア住宅』」  
丁 志映(ちょん じよん)氏  
(千葉大学大学院工学研究科 建築・都市科学専攻 助教)

「ご近所つきあい」よりは近く「家族」よりは距離を保って「ひとりではない」住まい方を選べたら・・・そんな多様な住まい方の可能性についてお話しいたします。

15:15~17:00 シンポジウム

「NAGAYA的 多様な住まい方 提案します!」  
障害があってもなくても、都会に住んでいても田舎にいても、人は人とふれあって暮らしています。いろいろなふれあい・支えあいの形、そして多様な暮らしや生き方を考えてみましょう。

シンポジスト 丁 志映氏  
原田 俊二氏  
牧野 賢一氏 (下宿屋ホーム長)  
コーディネーター 野沢 和弘氏 (毎日新聞)

17:00~17:30 入居者委員会報告 「入居者本人によく聞いてほしい」  
日本グループホーム学会入居者委員会

18:30~20:30 懇親会

21:00~23:00 ナイトセッション(自由参加)

1 支援スタッフの業務と待遇について  
自立支援法になり、世話人・生活支援員・サービス管理責任者・管理者と言うような職種が出来ました。しかし、その業務分担はどうなっているのでしょうか?また、報酬も大幅に改定されましたが、それに伴う身分保障はどうなるの?など、みなさんの実態とこれからを語り合しましょう。

2 重い障害のある人への支援について  
まだ、GHは比較的障害の軽い人が中心。障害の重さにかかわらず、どんな人も地域で暮らすことができるよう経験を交流しましょう。

3 GH・CH 立ち上げのノウハウ  
GHへの期待やニーズは高まっている反面、その立ち上げの主体は限られているのが現状です。多様なニーズに合わせた様々な開設のノウハウを発信しあいましょう。

4 「自立」を支える・「暮らす」「働く」  
地域で「暮らす」ことを考えるとき、自立支援法の目玉でもある「働く」について、様々な制度が準備されていますが、現在の不況の荒波の中をどうやって切り拓くのか、是非皆さんの実践を教えてください。

5 支援の質を考える  
私はサービス管理責任者……でも個別支援計画に利用者さんの意向を反映しているのだろうか?スタッフのスーパーバイズどころか自分の業務で限界……。私は世話人……運営管理者に言えないことが一杯……。どうしているの?みなさんによる、黙って聞いてほしい人たちと、聞いてくれる人たちとの分かち合いセッション。

## 6月14日(日)

A 入居者大集合!(入居者交流会)

9:00~12:00  
みんなで話そう!みんなで聴こう! 山形のなかまがおまちしています!!

B 連続講座

8:30~ 9:30 ①「グループホームと防災 消防法施行令改正の動向を踏まえて」  
大西一嘉氏 (神戸大学工学部准教授)

ヒューマニズムとしての防災の考え方から、最新の法令とその解釈、消防設備の整備まで、分かりやすく解説します。  
電車が命を運んでいる(乗客乗員107名が亡くなったJR西日本福知山線脱線事件の被害者の一人が言った言葉)なら、地域社会・グループホームは命を守り育む器ですね。

9:30~10:30 ② 都外施設の現状~地域移行はどうなっているの?

現状報告 秋田 鹿角苑  
山形 白鷹陽光学園  
司会進行 荒井 隆一 (千葉 ロザリオの聖母会グループホーム支援センター)

10:45~12:50 ③ 障害者自立支援法を検証する

今年の改定、障害程度区分の見直し、サビ管のあり方、権利擁護……etc。  
グループホーム学会をリードする3人が、これまで学会として取り組んできたこと、そして、これから取り組むことなどについて熱く語ります。

室津 滋樹 (GH学会 代表 横浜市グループホーム連絡会)  
宮代 隆治 (GH学会 副代表 千葉 さざんか会 )  
光増 昌久 (GH学会 副代表 北海道 松泉学院 )

13:00 閉会